

みなとバス説明資料

令和7年10月10日

特定非営利活動法人

みんなと湊まちづくりネットワーク



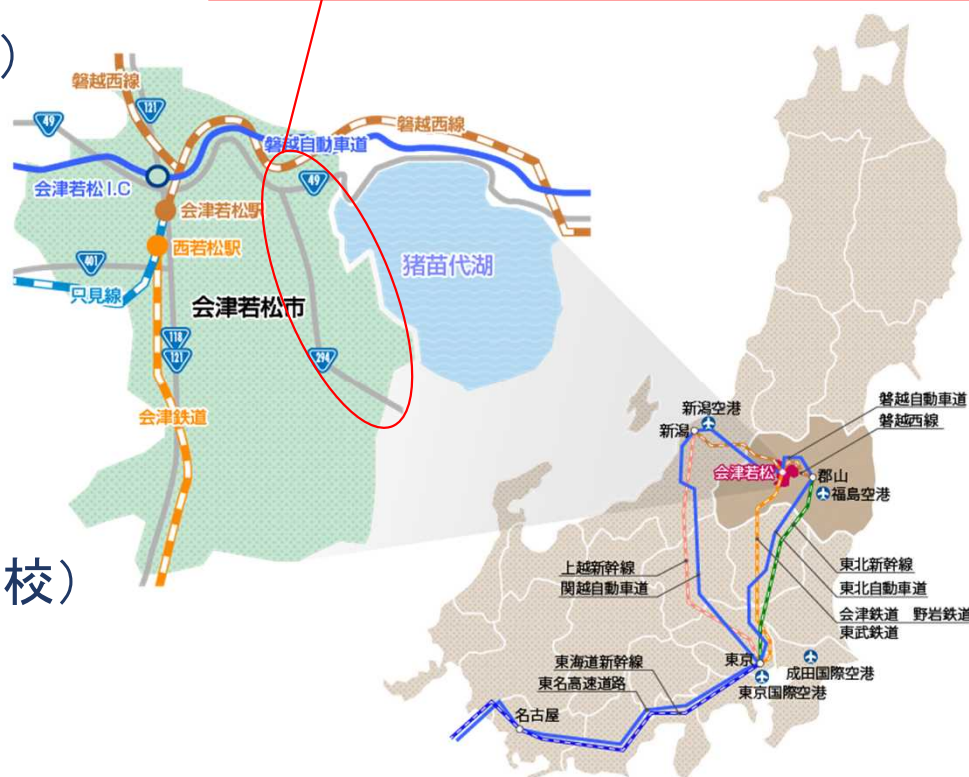
<概況>

- ・ 昭和30年 に会津若松市に編入
- ・ 人口1,459人、614世帯（介護施設含む）
（2024年11月現在）
- ・ 高齢化率約43%（市全体約32%）
- ・ 主産業 農業

<地域課題>

- ・ 人口減少が著しい
（毎年約50人ずつ減）
- ・ 子どもが減少
（R6年度より小中学校一貫校義務教育学校）
- ・ 農業の後継者不足
- ・ **交通の便が悪い**
- ・ **地域内に病院やスーパーがない**

湊地区の位置。市中心部から車で30分程度。



地域の絆が強い

景色が綺麗

自然が豊か

会津若松市
湊町
Minato Machi

会津で唯一、
会津磐梯山と猪苗代湖が一望できる町

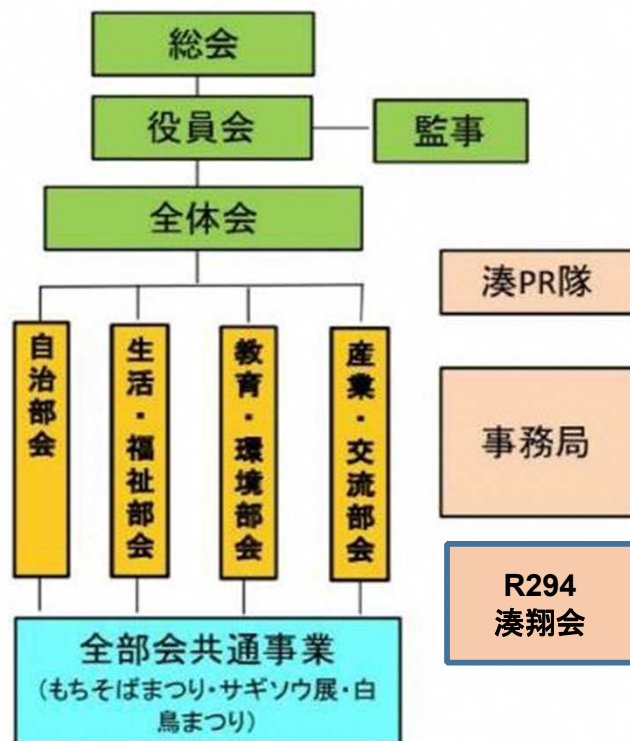


NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク

会津若松市
湊まちづくりネット

市内でも特に厳しい生活環境にあり、過疎・人口減少等の課題を抱える地域。
住民を起点とした地域区長会や各種団体により平成27年に協議会を設立。

平成27年3月：湊地区地域活性化協議会設立
平成27年4月：地域づくりビジョン策定開始
平成28年4月：第1次ビジョンの取組開始
平成31年4月：第2次ビジョンの取組開始
：名称変更「みんなと湊まちづくり
ネットワーク」（地区社協併合）
令和元年5月：みなとバスEST「環境大臣賞受賞」
令和2年3月：NPO法人登録
令和5年4月：第3次ビジョンの取組開始
令和5年12月：みなとバス「国土交通大臣賞」



【地域づくりビジョンの将来像・目標】

みんなと地域が
輝き続けるまち
(持続的な地域運営)

地域の宝を活用
した地域づくり
(地域資源の循環)

共助
支えあい

住民みんなが活躍
する地域づくり
(地域人材の循環)

持続可能な循環型共存社会の実現を目指す！

1代目みなとバス
日産自動車様より
電気自動車無償レンタル



2代目みなとバス
コスモエコパワー様より
ハイブリット車受領



再生可能エネルギーの地産地消

会津若松市
湊まちづくりネット



- ・地域貢献のために、湊地区内に無料の急速充電施設を設置
- ・EV車の電源として活用

- ・発電容量16,000kw (2,000kw×8基)
- ・予測発電量 約4,400万kw
(約9,850世帯分の電気使用量)
- ・事業者：コスモエコパワー株式会社
- ・平成27年7月より運転開始



コスモエコパワー(株)
【会津若松ウインドファーム】

みなとバスの基盤づくり ①

「湊交流バス」平成28年度～

地域内の交通が不便。高齢者の移動の支援と交流の促進を図るために運行

- ・文化祭など地域行事にあわせ年7回程度運行、利用料は無料
- ・車両は、特養老人ホームの送迎車両を実費弁償で借り受け
- ・運転手等、地域のボランティアスタッフによる運行
- ・将来的なバス運行に繋げていくため、利用者には通院や買物などについてアンケートやヒアリングを行う

【生活福祉部会スタッフ】



平成29年度からのみなとバス事業の基盤となる

高齢者のおでかけを後押し
⇒地域内の交流機会の増加に繋げる



みなとバスの基盤づくり ②

会津若松市
湊まちづくりネット

「“おでかけ”ふれあいサロン」平成28年度～ 令和2年度～はコロナ対応で買い物ツアーに変更
高齢者の外出支援と地域間の交流促進を図るために企画。計6回開催

①【稽古堂学習ツアー】



③【道の駅めぐりツアー】



②【湊の名所を巡るツアー】



⑤【柳津町を訪ねるツアー】



高齢者などの
集落間交流の場
⇒地域内の交流機会の
増加に繋げる

④【湊の地名を訪ねるツアー】



中山間地域内交通実証運行事業の取組 運行体制

会津若松市
湊まちづくりネット

「運営・運行のための組織づくり・仕組みづくり事業」

- ・将来的な公共交通空白地有償運送等の可能性を見据えた取組
- ・協議会が実証運行を受託し、地域住民が自ら運転スタッフを担う

地域人材を生かした、持続的な取り組みを目指す

【運営・運行体制】

NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク		
運営		運行
生活福祉部会	「みなとバス」スタッフ	
	受付事務員兼運転手	スポット運転
・運行計画の検討、策定 ・利用促進策の検討、実施	・事務、経理、相談対応 ・予約電話の受付 ・必要世帯への訪問等 ・日中帯の運転業務	・路線バス接続便のための予約 あった時のみの運転業務



【運行スタッフ研修会】



【風力発電の電気を活用】

【会津若松ウインドファーム】

地域資源を活かし、持続的な運行を目指す

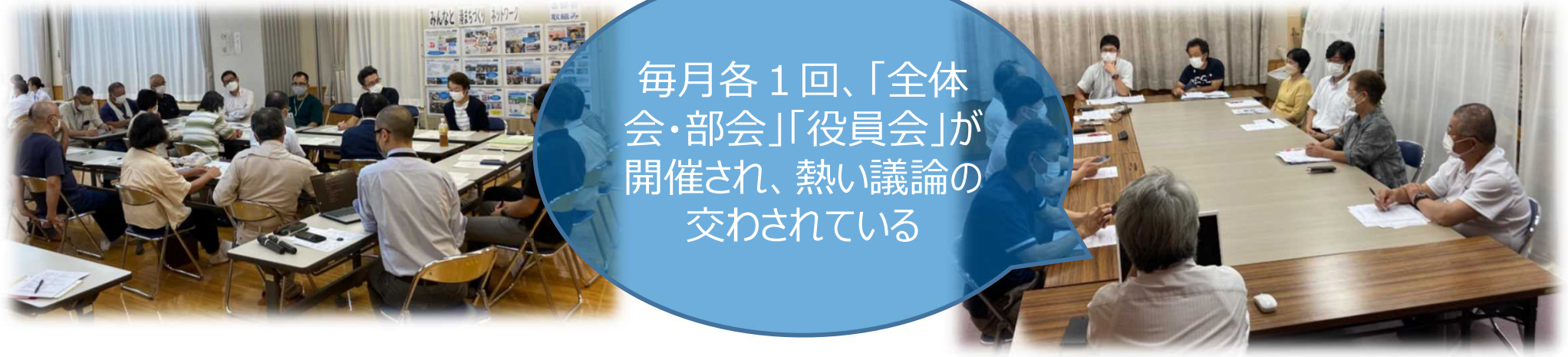
環境保全やCO2削減にも繋げる

【日産が電気自動車を貸与】



電気自動車 日産 e-NV200 発進式
贈呈：日産プリンス福島販売株

部会の様子



全体会の様子

【湊産農産物直売所】



力一變人

地域の活性化

地域情報の
発信・共有

地産地消の

【もち・そばまつり】

【みなとチャンネル】

地域で必要なことは、できる限り
地域で支えあい賄っていく

共助・支えあい

助交入

買物代行

生活支援
見守り

学校給食への食材提供

老人ホームへの食
材提供

提供事業者との連携 コスモエコパワー（株）

会津若松市
湊まちづくりネット

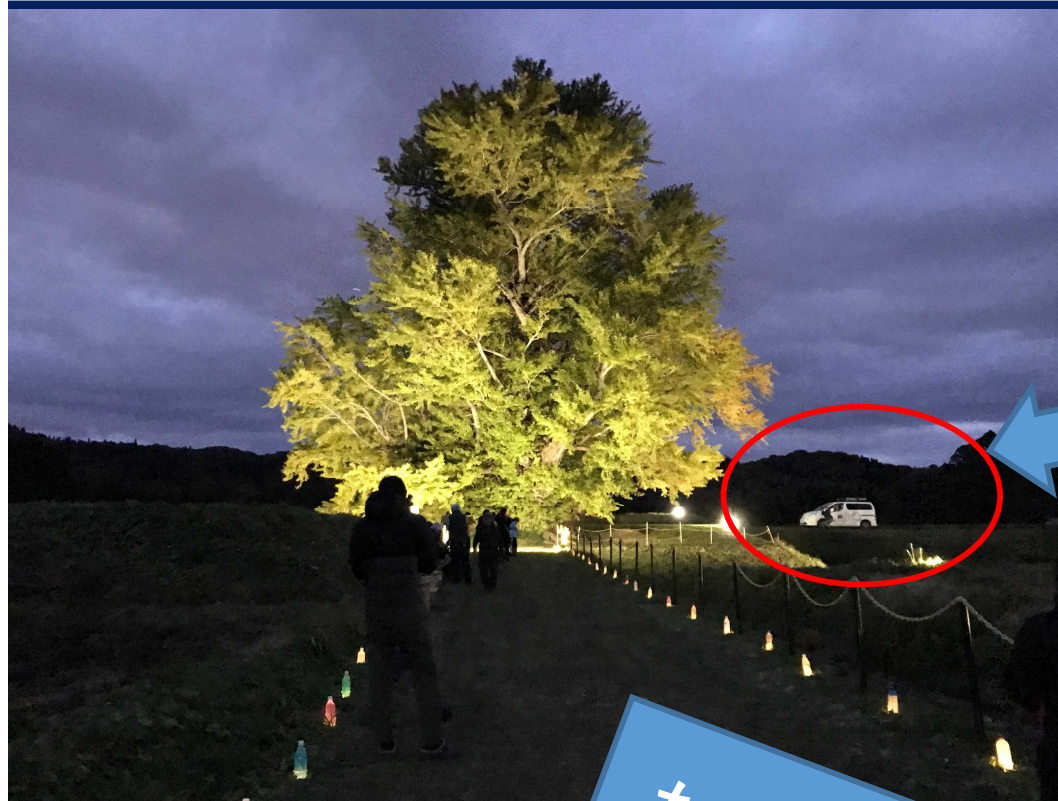


湊しらとり保育園、
湊小学校、中学校、
特老絆

持続可能な循環型共存社会の実現を目指す！



その他の活用



イベント時の電源車として活用

大イチョウ夜会
照明用



たたら製鉄
送風機、他



災害時の非常用バックアップ電源としても使用する



交通による地域づくりの取組

市松若津
まちづくりネット

令和元年5月



環境大臣賞!!

菅家環境政務官から賞状を
受けた小椋山会長(右)と都内



環境的に持続可能な交通(E-Sustainable Transport)の普及を目指す「第10回EST交通環境大賞」の表彰式が13日、都内で行われ、大賞(環境大臣賞)に輝いた会津若松市と同市湊地区のみなと湊まちづくりネットワークなどの活動をたたえた。

式は、EST普及推進委員会と交通エコロジー・モビリティ財団が主催したフォーラムの席上で行われ、菅家一郎環境政務官(衆院福島4区)が同団体の小椋山昭一会長に賞状などを手渡した。小椋山会長は「少子高齢化が進む中、高齢者も若者も安心して生活できるまちづくりを目指し、地域一体となって取り組んでいく」と抱負を述べた。

同団体は、従来の湊地区地域活性化協議会に社会福祉協議会の機能を加え、改称した。市と連携して電気自動車(EV)で予約制の「みなとバス」を運行し、高齢者の交通手段の確保につなげている。情報通信技術(ICT)をバス運行の効率化に役立てる一方、地元の風力発電所が提供する急速充電施設を使うことで再生可能エネルギーの地産地消と二酸化炭素(CO₂)削減を進めている。

交通環境大賞 決意新た

若松市と湊まちづくりネット

令和5年12月

国土交通大臣賞!!



表彰状を手にする小椋山理事長(右)と渡部副部長(左)。中央は斉藤国交相

共同受賞をたたえる

国土交通省 交通優良団体の表彰式

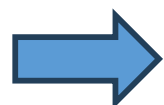
国土交通省による地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式は13日、国交省で行われ、共同受賞したNPO法人みなと湊まちづくりネットワークと会津若松市などをたたえた。

斉藤鉄夫国交相が「地域組みへの尽力に感謝する。公共交通の維持・活性化やと式辞を述べ、同NPOの交通分野の環境保全の取組



○運行エリアの拡大

- ・公共交通の便数減少が検討されている
- ・地域外への通院、買い物のニーズが高い



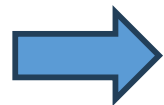
- ・スポットで運行エリアの拡大を検討

ex) 総合病院、最寄りのスーパー等

- ・運行日数の増加も合わせて検討

○スタッフの拡充

- ・エリア拡大に伴い、受付及び運転業務を行うスタッフの拡充を図っていく
- ・現行ではパートタイム勤務のみだったものを、フルタイム勤務も取り入れていく



- ・事務局運営の安定化

- ・地域内での雇用の創出



地域の課題を自分達で解決しようと始めたこの取り組みは、まだまだ道半ばです。
「みんなと地域が輝き続ける」ために、これからも「みなとバス」は走り続けます！